

ライティング能力育成のための授業科目の現状と課題

上月翔太(愛媛大学)・蝶慎一(香川大学)・飯尾健(徳島大学)

(1)背景と目的

SPOD-FD調査研究プロジェクト

「学生の読む力と書く力を高める 教授法・授業設計・カリキュラムデザイン」

- ・生成AIの普及によるライティング教育の再検討の必要性
- ・カリキュラムや学習支援の視点からのライティング教育の捉え直し
- ・専門分野別にFDを考える具体的な論点
- ・多様なライティングの存在

アカデミック/パーソナル/クリエイティブ/ビジネス/プロフェッショナル/実用文…

目的

SPOD加盟校におけるライティング教育の現状と課題を整理し、関連授業・カリキュラム・学習支援等の改善に資する知見を得ることで、プロジェクトで形にすべき成果は何かを定める。

(2)方法

対象

SPOD加盟校のうち、高専を除いた加盟校(大学・短期大学)(全31校)

調査・分析の方法

調査

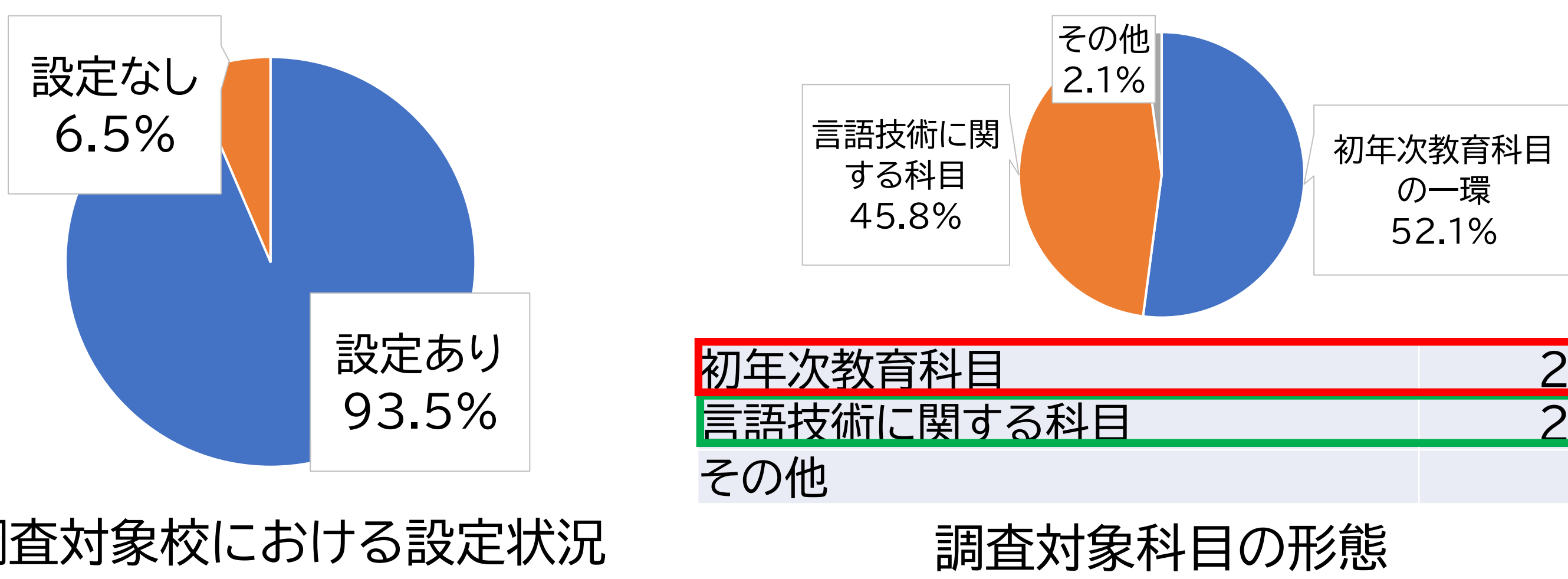
・公開された最新のシラバスから初年次学生を対象としたライティング指導を明示的に行う授業を収集。「レポート」「文章表現」「スタディスキル」など関連する用語を授業科目に含む科目を主として収集した(全48科目)。

分析

- ・初年次にライティング指導を行う科目を有する学校数の把握
- ・科目の形態、指導時間、指導内容における当該科目の類型化
- ・加盟校のうち、国立の総合大学4校については、2年次以上のカリキュラムにおけるライティング指導科目の有無を調査(ライティング、文章(文書)、研究、コミュニケーションなどの関連用語を科目に含む授業科目を対象科目とする)。

(3)結果

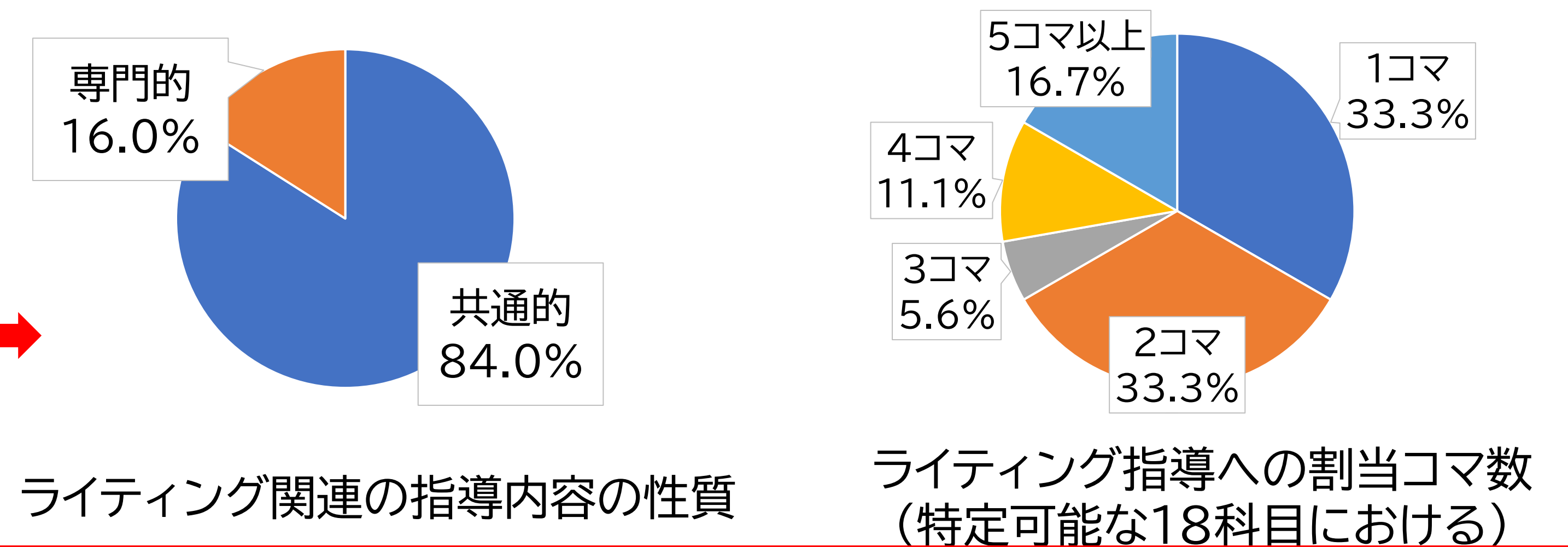
初年次におけるライティング関連授業科目の状況



調査対象校における設定状況

調査対象科目の形態

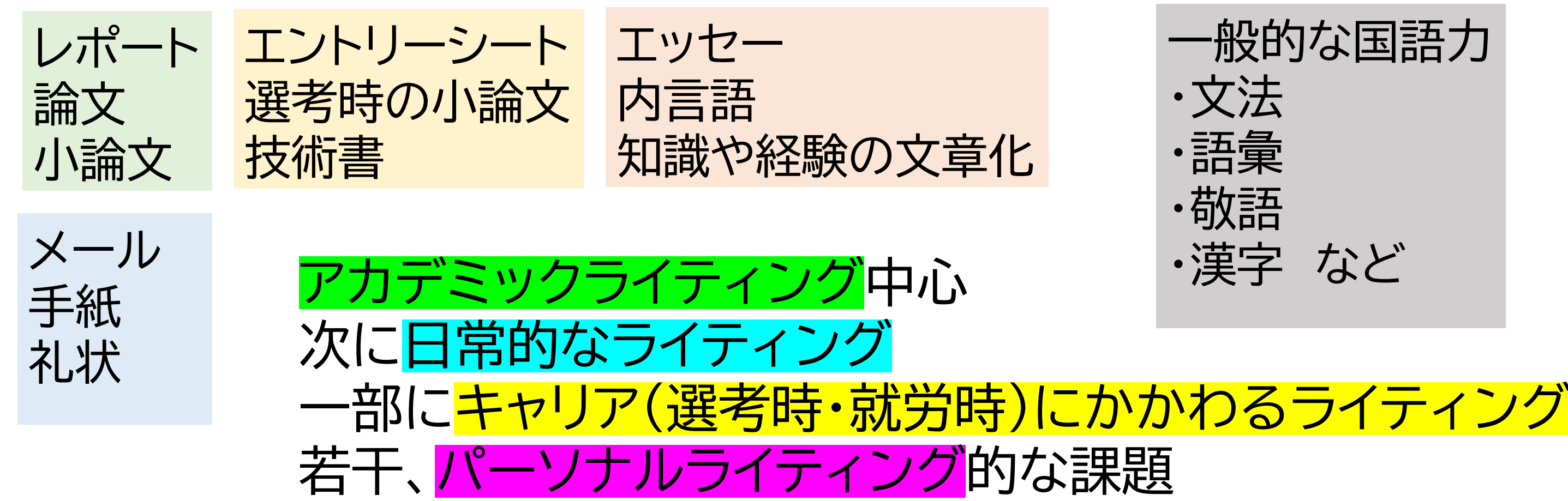
初年次教育科目におけるライティング指導



ライティング関連の指導内容の性質

ライティング指導への割当コマ数(特定可能な18科目における)

調査対象科目全体における指導内容



コア校の卒業までのライティング関連授業科目

愛媛大学	高知大学	香川大学	徳島大学
日本語表現(法文3, 4) 論文指導(法文4) 卒業論文(法文4) 卒業研究(教育4) 卒業研究(社会共創4) 卒業研究(理4) 卒業研究(工4) 卒業論文(農4)	理工学研究プロポーザル、ケーススタディ(理工3) 卒業研究(理工4) 科学コミュニケーション論(農林海洋科学3) 卒業論文演習(農林海洋科学4) 看護研究の基礎(医3) 地域協働実践・卒業研究(地域協働4)	教育学チュートリアル(教育2) 教育学演習、卒業研究(教育4) 法文書作成(法2) 4年演習(法4) 個別演習(経済4) 卒業研究(創造工4) 課題研究(農3, 4) 看護クリティカルシンキング(医2) 卒業研究、看護研究(医4)	卒業研究(総合科学) 看護研究、卒業研究(医) 研究基礎ゼミ(歯) 卒業研究(歯) 学術論文作成法(薬) 卒業研究(薬) 卒業研究(理工) 卒業研究(生物資源産業)

(4)課題

初年次における関連授業における課題

- ・育成には長い時間を要するにもかかわらず十分な時間の確保が難しい
- ・さまざまな要請を満たす必要から授業設計の方向性が見失われがち
- ・専門のゼミ形式の授業では担当者の裁量が大きく学習内容がばらばら
- ・担当者次第ではライティング指導が行われないケースもある

卒業までのカリキュラムにおける課題

- ・各専門分野において求められるライティングを検討する必要性
- ・2年次以上でライティングを体系的に学ぶ機会が少ない
- ・最終学年になってはじめて「論文とは何か」を学ぶのは遅い可能性
- ・学習支援など授業外の支援の必要性

多様なライティングへの対応

- ・学生の幅広い能力の育成に応じた多様なライティングの指導が必要となるのではないかと
- ・自己省察を行う種類の文章は履修計画の策定やキャリア形成などにも寄与する
- ・カリキュラム・オーバーロードに配慮しつつ学べる機会を創出できるとよい
- ・多様なライティングに対応できる教職員の能力開発も望まれる

(5)SPOD-FD調査研究プロジェクトの活動

時期	取組内容
R7前期	(1)加盟校におけるリーディング/ライティング支援の現状把握(シラバス調査、講師派遣プログラムでの調査、ウェブサイトを通じた公開教材の調査)
R7後期	(2)一般的なリーディング/ライティング支援のための教材等開発(学生向け、教員向け、チューター向け)
R8前期	(3)SPODフォーラム2026での関連プログラム開講
R8後期	(4)分野別の指導における論点の整理 (5)分野別リーディング/ライティング教材等開発

参考文献

- 井下千以子(2008)『大学における書く力考える力—認知心理学の知見をもとに』東信堂
- 谷美奈(2021)『「書く」ことによる学生の自己形成—文章表現「パーソナルライティング」の実践を通して』東信堂
- 中井俊樹編(2022)『カリキュラムの編成』玉川大学出版部
- 名古屋大学教養教育院・高等教育研究センター(2021)『アカデミックライティングを指導する教員のためのハンドブック』
- 野田春美、稲葉小由紀、岡村裕美、辻野あらと、藤本真理子、米田真理子(2014)『大学生が習得すべき文章表現力とは—社会人を対象としたアンケート調査報告』『教育開発センタージャーナル』第5号、pp.57-71

問い合わせ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 上月翔太(kozuki.shota.vc@ehime-u.ac.jp)